

2022年3月度 ECOLifeMailとよた アンケートNo.136-2 集計結果

「環境に関するクイズ」に関する回答結果をお知らせします。

公開：2022年4月15日

調査期間	3月15日～3月19日
メール配信者数	2,374人
回答者数	237人(9.98%)
未回答者数	2,137人(90.02%)

設問1 豊田市で、市民1人あたりが1日に出すごみの量は、どのくらいになるでしょうか。ただし、このごみの量には資源ごみや事業系ごみを含みます。

		人数	割合
1	約935グラム	161人	67.9%
2	約480グラム	66人	27.8%
3	約263グラム	10人	4.2%
合計		237人	100.0%

設問2 答え：令和2年度では市民1人1日あたり935グラムのごみを出している計算になります。市全体では1日に約400トンとなり、2トン詰めのごみ収集車に換算すると約200台分になります。豊田市のごみの量をどう思いますか。

		人数	割合
1	多いと思った	185人	78.1%
2	だいたいそれくらいの量だと思った	46人	19.4%
3	少ないと思った	5人	2.1%
4	未回答	1人	0.4%
合計		237人	100.0%

設問3 豊田市で、家庭から出された燃やすごみのうち、資源として出せるものはどれくらい混ざっているでしょうか。

		人数	割合
1	約30%	175人	73.8%
2	約20%	39人	16.5%
3	約10%	22人	9.3%
4	未回答	1人	0.4%
合計		237人	100.0%

設問4 答え：ごみの中身を調べる組成分析（令和2年度）の結果によると、燃やすごみ袋の中身の約30%が資源として出せるものでした。プラスチック製容器包装、新聞紙、ペットボトル、雑誌、ガラスびん、飲料かんなどは分別すれば資源としてリサイクルすることができます。資源が30%という数値は、あなたが出す燃やすごみの袋の中身と比べてどう思いますか。

		人数	割合
1	多いと思った	176人	74.3%
2	だいたいそれくらいの量だと思った	54人	22.8%
3	少ないと思った	7人	3.0%
合計		237人	100.0%

設問5 日本で1年間に発生する食品ロスの量はどれくらいだと思いますか。

		人数	割合
1	約570万トン	193人	81.4%
2	約5万7千トン	35人	14.8%
3	約570トン	9人	3.8%
合計		237人	100.0%

設問6 答え：食品ロス（まだ食べられるのに捨てられる「もったいない」食品）の日本での発生量は約570万トン（令和元年度）です。これは私たち一人ひとりが、毎日お茶碗約1杯分の食料を捨てている計算になります。この食品ロスの量をどう思いますか。

		人数	割合
1	多いと思った	194人	81.9%
2	だいたいそれくらいの量だと思った	36人	15.2%
3	少ないと思った	6人	2.5%
4	未回答	1人	0.4%
合計		237人	100.0%

設問7 海岸に漂着するごみのうち、割合の多いものは次のうちどれでしょうか。（流木などの自然由来のごみを除く）

		人数	割合
1	生活系（日常生活から出るごみ）	223人	94.1%
2	漁業系（漁業から出るごみ）	9人	3.8%
3	事業系（農業や工場から出るごみ）	3人	1.3%
4	未回答	2人	0.8%
合計		237人	100.0%

設問8 答え：一番多いのは生活系のごみで、漁業系、事業系と続きます（平成21年、平成23年の漂着ごみに関する環境省の報告書より）。生活系ごみに多く含まれるペットボトルや食品容器などのプラスチック製品は、時間がたつと細かいかけらになり、大きさが5 mm以下のものはマイクロプラスチックと呼ばれ、魚や鳥などが間違えて食べてしまうなど生態系への影響も心配されています。あなたはこうした問題を知っていましたか。

		人数	割合
1	知っていた	198人	83.5%
2	知らなかった	38人	16.0%
3	未回答	1人	0.4%
合計		237人	100.0%